

企業と大学が協働して若手社員、学生を育成する

「企業人と学生のハイブリッド」プログラム —概要—

若手社員が携わっている職務上の課題を設定し、それをもとに若手社員1名＋学生3名のプロジェクトチームで、4か月をかけて、その課題への対応策を検討していただきます。

参加人数

企業10社10名/学生30名(3年生中心)

実施日

■10月～1月の期間で大学に来ていただく回数:

授業4回、最終発表会1回の計5回

■時間:3限(13:15～14:45)、4限(15:00～16:30)

※別途個別に学生と打ち合わせ機会を持っていただく可能性があります。

留意点

□参加社員には4ヶ月間課題に取り組んでいただきます。

□課題進捗を確認していただく人事部門責任者、上司等(メンター)の特定をお願いします。

効果

◆対企業

- ・プロジェクトマネジメントを経験することで、後輩を教える機会が少ない若手育成に役立つ。
- ・課題を出し、学生とともに解決を図ることで、長期スパンでの成長を感じることが出来る。
- ・会社の課題を考えることにより、当事者意識が芽生え、自ら考える癖が付くようになる。
- ・PDCAのサイクルを一通り体験することで、自ら考え行動するスキルを身につける。
- ・若手・上司・人事が大学と連携することにより、企業全体の人材育成力が向上する。

◆对学生

- ・就職活動を目前にひかえた学生にとって、仕事の進め方を学び、自身の力をブラッシュアップする機会になる。
- ・普段経験しない社会人との協働作業を通じて、社会を身近に知り、職業観育成や就活に役立つ。

講座内容

講座内容①：企業の課題の共有

- ・若手社員が自社の属する業界の状況、自社の業務を学生に分かりやすく説明し、課題を共有する。
- ・講義:プロジェクトマネジメント、リーダーシップを学ぶ。

講座内容②：企業課題の対応策を検討する

- ・課題への対応策を発表。ディスカッションの上、最適と思われる対応策を選定する。
- ・講義:問題解決の手法(分析手法等)、PDCAサイクルを学ぶ。

講座内容③：対応策・実行策の確定

- ・対応策とそれに対する実行策を確定する。
- ・企業訪問の際にメンターに見てもらおう資料として、プレゼンシートを作成する。
- ・講義:問題解決の手法(ソリューションプラン)と実行策を学ぶ。

講座内容④：課題へ対応策の発表

- ・メンターに確認し、修正した対応策、実行策をプレゼンシートにまとめる。
- ・各グループごとに発表し、それぞれフィードバックを受ける。

若手社員の方々と共に仕事に挑戦する。 企業人と学生のハイブリッド

企業と大学が「win-win」の関係を構築したいと考え、その方法の一つとして考案したのが、「企業人と学生のハイブリッド」です。このプログラムは、企業の若手社員と学生がチームとなって企業が抱える課題の解決に取り組む、産学協働型の人材育成プログラムです。学生にとってはリアルな仕事の流れを体験してビジネスの場面でチームがどのように働いているのかについて理解を深めるだけで

なく、若手社員の方から社会人としての考え方を学ぶことができる絶好の機会です。また、若手社員の方にとってもリーダーシップやマネジメント・スキルを実践的に身につけることができる機会になります。企業・大学ともにメリットが大きい、全国的にも珍しい取り組みとして注目されています。



実践のなかでアイデアを まとめる力、伝える力を習得。

運送会社からの課題に挑戦しました。アルバイトが多い現場で社員からの指示を的確に伝え、スムーズに作業するための方法について考案。何度も現場に足を運んで課題の解決策を考え、アルバイトでも指示ができるリーダーの制度化を提案しました。考えを企業の方にうまく伝える方法も工夫し、企業の方に「前向きに取り入れたい」と言ってもらえたときは大きな達成感がありました。

経済学部
経済学科3年次
安田 直広さん

受講生の成果

●仕事への理解

社会人とチームを組んで課題に取り組むことにより、リアルな仕事の流れを体感でき、仕事の進め方や働くことへの意義について実践的に理解を深めることができました。

●論理的思考の大切さを学習

中間報告会では、企業メンターから、かなり踏み込んだ質問を受けることも多く、「ジャストアイデア」的な発想では対応できない、論理的な思考の大切さを実感できました。

●仕事遂行能力の向上

決められた期限内に、決められた条件で、最大限の効果を上げる、という仕事をしていく上で不可欠なスキルを身につけることができました。

企業側のメリット

●プロジェクト遂行能力

後輩を教える機会が少ない若手社員の人材育成にも効果的なプログラム。学生との協働を通して、リーダーシップ、優先順位や時間管理などの実践的な力を身につけることができます。

●コミュニケーションの重要性

若手社員の方々は、プロジェクト遂行のために周囲の協力が必要であることや、課題の認識共有が重要であることを実感し、コミュニケーションの大切さを学びとっています。

参加企業人の声

最初は学生の指導ができるのか不安でしたが、実際に取り組んでみると学生のやる気にあふれた講義でとても楽しむことができました。学生の意欲的な姿に、私自身学ぶことも多かったと思います。

参加した社員は、自分自身の仕事を振り返るいい機会になったと思います。組織の動かし方、リーダーシップなどを学び、自身の仕事にも取り入れることで自信にもつながっています。前向きな行動や発言が増え、視野も広がったと感じます。

■プログラムの流れ(2011年実績) □…プログラム内で企業の方に協働いただく部分となります。

企業メンターの声

